

第1回 戸山 わくわく 勉強会

9月5日(土) 2:30~5:00

原子炉の弱点, 金属学は問う

講師 柏崎刈羽原発の閉鎖を訴える科学者・技術者の会代表

井野博満さん (東大名誉教授/金属学)

原子炉は、地震や劣化に耐えるか 徹底討論!

井野博満さんは、金属材料学の視点から、原発材料の劣化と地震の影響などについて考察を続けている科学者です。

川内原発は、国民の反対の声を押し切って、再稼働が強行されました。

さらに、高浜原発、大飯原発と再稼働の動きは急です。

福島原発事故の原因さえ究明されないまま原発依存の復活が許されてよいのでしょうか。

原子炉そのものが大地震に耐えるのでしょうか。

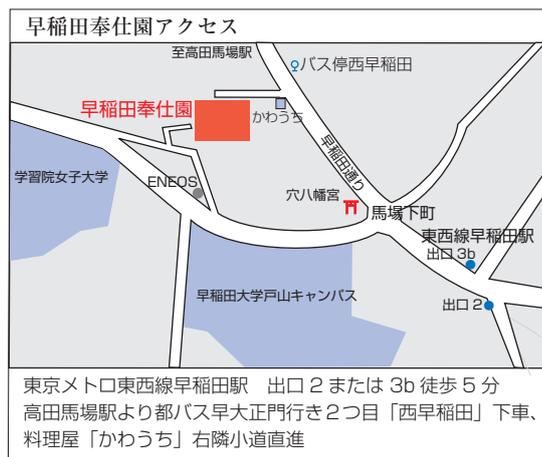
福島ではどうだったのか。

金属学の専門家を迎えて、徹底討論をします。

会場：早稲田奉仕園リバティールホール

(東京都新宿区西早稲田2-3-1) 地下鉄早稲田駅から徒歩5分

参加費：1000円 (学生・高校生無料)



井野博満さんのプロフィール

東京都生まれ。都立戸山高校卒。1965年、東京大学大学院・数物系研究科応用物理学専攻博士課程修了。東大工学部教授、法政大学工学部教授などを歴任。2007年以来、石橋克彦(地震学)さんらと「柏崎刈羽原発の閉鎖を訴える科学者・技術者の会」を立ち上げ、活動。編著書に『福島原発事故はなぜ起きたか』(藤原書店)など。

こんなことをお聞きしたいという質問がございましたら、下記の須貝宛てにメールをお送りください。事前に井野さんにお届けして、講演の際に答えていただきます。

主催：戸山わくわく勉強会・世話人会

問い合わせ先・須貝道雄(1968年卒) 携帯 090-2538-0208

メール sukabura7@gmail.com

戸山わくわく勉強会とは

戸山高校の元教師武藤徹さんがブックレット「きらめく知性・精神の自由」を出されたのを記念して、今年2月に早稲田奉仕園でシンポジウムが開かれました。これをきっかけに有志が集まり、現代社会・政治や文化の様々な問題を勉強しようと、「戸山わくわく勉強会」をつくることになりました。

戸山高校卒業生や専門家を講師としてお呼びして、講師の話を聞きながらわいわいと意見を交わしながら勉強し合う、世代を超えて、どなたでも自由に参加できる勉強会です。